

松野町における文化的景観調査

菊川歩夢

1. 概要

本調査は、愛媛県北宇和郡松野町教育委員会からの依頼を受けた、松野町における文化的景観調査の一環として目黒地区の景観と奥内地区の棚田の石垣の測量をおこなったものである。

2. 調査日程・調査者

第1回 調査日：2018年9月18日（月）～21日（金）

調査者：上杉和央（教員）、小川大地・竹内祥一郎（博士前期課程1回生）

伊藤美梨子・奥谷慎也・菊川歩夢（3回生）

第2回 調査日：2018年10月29日（月）～31日（水）

調査者：竹内祥一郎、菊川歩夢

3. 調査内容

第1回調査では、9月18日に目黒の巡検をした後、目黒基幹集落センターにて愛媛大学の井口研究室と合同で目黒地区の住民の方に暮らしや地区の祭りについての聞き取りをおこなった。2・3日目は午前から奥内地区の調査を開始した。本谷地域、榎谷・下組地域の二班に分かれ、それぞれ棚田の石垣の延長、高さや積み方、1メートル四方の石の個数を計測した。本谷・榎谷・下組地域の石垣の計測をほぼすべて終えることができた。

第2回調査では、昨年度末に調査をした遊鶴羽地域と、第1回調査でのやり残し・計測不良であった箇所の補足調査をおこなった。



写真1 聞き取りの様子（目黒基幹集落センター）

（2018年9月18日 上杉和央撮影）



写真2 調査風景（下組）

（2018年9月21日 竹内祥一郎撮影）